

(様式)

## 令和 6 年度 吹奏楽部の指導方針等について

令和6年10月10日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	西山 真司	五十嵐 清		
副顧問	阿部 結			
副顧問	高橋 亮			
副顧問	高橋 雅子			
副顧問	梅原 佐知子			

### 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
自ら進んで行動するとともに、一人ではなく仲間とともに音楽をつくりあげるために、協調性を持ち、目標達成のために日々努力する。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストでの金賞獲得を目指して日々の練習に取り組む。地区大会・中央大会・定期演奏会で良い演奏ができるように、日々の練習に励む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、社会福祉施設での演奏会や、地域で発表する機会があるときにはすすんで参加する。また、近隣の高等学校と合同練習を行い、交流を深めていく。

### 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は週に4日間とし、練習時間は、平日2時間・休日3時間を基本とする。個人での基礎練習を主体に、パート練習や合奏を組み合わせ、適宜休憩を取りながら、モチベーションを高く持ちつつ楽しく活動している。
- (2) 練習や試合等の計画  
外部指導者を招いて、楽器奏法の基本を学びながら、コンクールやアンサンブルコンテスト、地区大会・中央大会に積極的に参加する。近隣の学校と合同練習を行い、交流を深め、技術の向上を図る。年度末には、活動の総まとめの定期演奏会を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 4 指導内容・方法

### (1) 体罰・暴言等のない指導

体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

### (2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からお互いによく話し合う関係を作るよう指導する。

### (3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

### (4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体調・既往症等を適切に把握するとともに、屋外の演奏時の熱中症や過呼吸、大型の楽器運搬時の負傷などの事故防止に留意する。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	入学式
	5	生徒部活動紹介
	6	
	7	
	8	夏季合宿（山梨県河口湖） 東京都高等学校吹奏楽コンクール
2 学期	9	文化祭
	10	
	11	東京都高等学校文化祭音楽部門 9 地区大会
	12	都高吹連アンサンブルコンテスト
3 学期	1	東京都高等学校文化祭音楽部門中央大会
	2	
	3	卒業式 定期演奏会

(様式)

## 令和 6 年度 自然観察部の指導方針等について

令和 6 年 10 月 10 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	中島 聡美			
副顧問	竹内 彩絵			
副顧問	山口 理子			

### 2 年間目標

生物と触れ合い、育てることを楽しみながら、自然に対する関心を深める。

### 3 指導方針

- (1) 生物を尊び、継続して自主的に飼育に携わる行動力を養う。
- (2) 飼育ケージの清掃等の仕事を部員間で協調する力を養う。
- (3) 文化祭等の学校行事を通して、企画運営力や来校者との交流を積極的に行い、コミュニケーション能力を養う。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。  
その際、体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
外部指導員を依頼する際は、顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握する。  
特に野外活動の際には、熱中症や事故防止に留意して活動計画を立てる。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生物のお世話 生徒会部活動紹介
	5	生物のお世話 屋上庭園の植物の観察（種の同定）
	6	生物のお世話 文化祭企画準備
	7	生物のお世話 文化祭企画準備
	8	生物のお世話 文化祭企画準備 学校見学会への参加（部活動紹介） 野外観察（昆虫採集／川の生物採集／川の生物採集）
2 学期	9	生物のお世話 文化祭への参加
	10	生物のお世話 屋上庭園の植物の観察（種の同定） 学校説明会への参加（部活動紹介）
	11	生物のお世話 学校説明会への参加（部活動紹介）
	12	生物のお世話 野外観察（ムササビ観察）
3 学期	1	生物のお世話
	2	生物のお世話
	3	生物のお世話 屋上庭園の植物の観察（種の同定） 3年生を送る会

(様式)

## 令和 6 年度 美術部の指導方針等について

令和 6 年 1 0 月 1 0 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	杉浦 裕二	長尾 多加史	非常勤講師	週 1 日
副顧問	宇佐美 俊哉			
副顧問	梅原 佐知子			

### 2 年間目標

- (1) 一人一人の興味・関心に応じた絵画、イラスト、造形表現等の技能を高め、作品を創り上げる楽しさを味わう。
- (2) 部活動を通して、挨拶・マナー・コミュニケーション力等を身に付け、人間性を高める。
- (3) 文化祭での展示や高等学校文化連盟文化祭美術・工芸部門「中央展」出品を目指すことにより、一つの作品を粘り強く試行錯誤しながら制作する態度を育成する。

### 3 指導方針

- (1) 活動は原則として週 3 日、活動時間は 1.5 時間から 2 時間とする。(文化祭や展覧会前は延長届けにより 2 時間を超えることもある。)
- (2) 秋の文化祭において、各自の作品を発表するとともに、共同で出来る企画立案も試みる。高等学校文化連盟文化祭 美術・工芸部門「中央展」に各自 1 点出品することを目指し、普段よりは大きなサイズの作品制作に挑戦させる。
- (3) 挨拶の励行、正しい言葉遣い、整理整頓等、自ら進んで行動させ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 下級生と上級生が学年の壁を越えてコミュニケーションを図れるよう促す。また、文化祭や中央展などの行事を通じて協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動の両立を目指す。学習時間を確保するため、作品制作のために 1 日の中でバランスの取れた活動を自主的に計画し、目標に向けた努力をする。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、保護者で体罰・暴言のない指導について共通理解を図り、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
生徒同士のトラブルの際は、問題解決にあたり、言葉の暴力を含め他者を傷つけることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
専門性を考慮し、「中央展」に向けた制作では、外部指導員を活用することがある。
- (4) 事故防止・安全配慮  
顧問間でよく話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。  
生徒の心身の発達や技術等を把握して、適切な活動計画を立てる。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	年間計画立案
	5	国立新美術館など作品鑑賞を行う
	6	デッサン 油絵 水彩画指導
	7	陶芸指導 個人作品作成
	8	夏休み *生徒の希望に沿って 動物園スケッチなど日帰り活動実施 *生徒の希望に沿って 都内美術館鑑賞を計画実施
2 学期	9	文化祭 テーマにした自由作品展示
	10	中央展出品 作品制作
	11	*継続的なアドバイス 指導を行う ・油彩画 ・陶芸 ・デザイン ・彫刻など
	12	中央展出展 *搬入搬出に生徒参加
3 学期	1	次年度文化祭や中央展に向け準備開始
	2	デッサン 油絵 水彩画
	3	個人作品作成

(様式)

## 令和 6 年度 音楽部の指導方針等について

令和6年10月10日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	前田 直子	なし		
副顧問	栗本 学			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 東京都高等学校文化連盟音楽部門に加盟し、地区の演奏会に出演する他、他校の生徒と係の運営や準備を協力して活動を行う。
- (2) NHK 全国学校音楽コンクールに出場して、外部での演奏の機会を持ち活動のモチベーションを高める。
- (3) 校内で文化祭や、クリスマスや学年末コンサートを企画して発表する。

### 3 指導方針

- (1) 活動は週 2 に 2 回の 18 時までとし、学習と部活動の両立ができるように工夫して活動を行う。
- (2) 年に 3 回の演奏活動を計画して、演奏技術の向上や演奏会の企画や準備等の経験を積む。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
一人一人のやりたい事に合わせて個別指導を行う時は、生徒が不安にならないように少人数指導を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
仲良く協力しあって言葉がけに気を遣いながら気持ちよく活動する。
- (3) 外部指導員の活用  
現時点では不要
- (4) 事故防止・安全配慮  
楽器の運搬時は事故や怪我がないように顧問の付き添いの元に行う。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生歓迎会</li> <li>・部活動体験</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK 全国学校音楽コンクール申し込み</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクール練習</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクール出場</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭公演練習</li> </ul>
	2 学期	9
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区大会練習</li> </ul>
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区大会参加</li> </ul>
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスコンサート</li> </ul>
3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末コンサート練習</li> </ul>
	2	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末コンサート</li> </ul>

(様式)

## 令和 6 年度 茶道部の指導方針等について

令和 6 年 1 0 月 1 0 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	小川 里美	池本 宗悦 (悦子)	裏千家 教授	月 2 回
副顧問	高木 智子			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 茶道を学ぶことで、日本人としての立ち居振る舞いやマナーなどを身につける。
- (2) 一服のお茶を美味しく召し上がっていただくための稽古を通じて、「もてなしの心」を会得し、高校生活や日常生活における対人関係において活用できることを目指す。
- (3) 文化祭で、日頃の練習の成果を披露するとともに、呈茶を行い来室者に茶の湯文化を体験してもらおう。
- (4) 高等学校文化連盟茶道部門に加盟し、総会、リーダー研修会、全体研修会、東京大茶会、冬の茶会 (東京国立博物館 園庭茶室) 等に参加し、他校の茶道部と交流する。

### 3 指導方針

- (1) 外部指導員の先生のもと、部員全員が 3 年間で、「平点前」「御園棚点前」「盆略点前」の 3 つの点前を文化祭で披露できるようにする。
- (2) 茶道を通じて会得した「立ち居振る舞い」や「もてなしの心」を、茶道だけにとどまらず、高校生活や日常生活において体現できるよう指導していく。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
  - ・「もてなしの心」とは対極的な位置にある「体罰・暴言等」は、指導の中で絶対に用いることはしない。
- (2) 生徒間の暴力禁止
  - ・「もてなしの心」とは対極的な位置にある「体罰・暴言等」は、生徒間であっても絶対に用いることがないよう指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
  - ・ 1 回 2 時間、年間 60 時間、外部指導員の先生にご指導をお願いし、顧問と外部指導員とで連携して指導にあたる。
- (4) 事故防止・安全配慮
  - ・ 熱湯や茶釜による火傷、正座から立つ際の捻挫、陶磁器破損時の怪我等の事故防止に努め、夏でも茶釜を複数用いて稽古するため、適宜空調を用い熱中症を予防する。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 部活動仮入部 都高文連加盟手続き 稽古内容：お辞儀の仕方歩き方、道具の扱い、客の作法、割稽古
	5	都高文連総会・リーダー研修会（茶碗の絵付け）参加 稽古内容：風炉の水差し運び点前
	6	稽古内容：文化祭に向け点前、半東、客の作法の稽古
	7	稽古内容：文化祭に向け点前、半東、客の作法の稽古 美術部と合同で、抹茶茶碗制作
	8	夏期休業中 浴衣の着方稽古、及び文化祭に向け点前、半東、客の作法の稽古 文化祭に向け、仕入れ計画・消耗品の購入計画立案 高文連主催、和菓子作り研修会 三井記念館茶道具鑑賞研修会
2 学期	9	文化祭に向け、仕入れ・消耗品の購入 精算、会計報告 浴衣の着方稽古、及び文化祭に向け点前、半東、客の作法の稽古 都高文連茶道部門 研修会に参加
	10	学校説明会、部活動見学、及び、来年度の文化祭に向け、 御園棚の準備 及び 御園棚の点前・半東・客の作法の稽古・披露 東京大茶会 客として高文連茶道部門の生徒による高校生茶会参加
	11	学校説明会、部活動見学、及び、来年度の文化祭に向け、 御園棚の点前・半東・客の作法の稽古・披露
	12	来年度の文化祭に向け、御園棚の点前・半東・客の作法の稽古 都高文連「冬の茶会」（東京国立博物館園庭茶室）に客として参加 クリスマス茶会
3 学期	1	都高文連「冬の茶会」反省会参加
	2	来年度の文化祭に向け、御園棚の点前・半東・客の作法の稽古
	3	来年度の文化祭に向け、御園棚の点前・半東・客の作法の稽古 三年生を送る会 裏千家許状授与式 生徒会新入生歓迎会に向け準備

(様式)

## 令和 6 年度 演劇部の指導方針等について

令和 6 年 1 0 月 1 0 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	関 友哉	手呂内 康佑	高校演劇部指導員	月 2 回
副顧問	小林 真希			
副顧問	大和田 わかな			

### 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
責任を伴う自由を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
中央発表会出場を目指して日々の練習に取り組む。

### 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
活動は、原則週に 2 日間、平日 2 時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
年に 4 回の公演を行うため、計画的に作品を作り上げていく。また、大会前は休日 4 時間の練習も行っていく。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握するとともに、熱中症や事故防止に留意して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	地区新人発表会
	6	
	7	多摩南地区総会
	8	東京都演劇連盟合同合宿参加 (千葉県大網白里市 タイヨースポーツセンター 2泊3日)
2 学期	9	文化祭公演
	10	地区大会
	11	
	12	冬季発表会
3 学期	1	
	2	
	3	春季発表会

(様式)

## 令和 6 年度 写真部の指導方針等について

令和 6 年 1 0 月 1 0 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	益子 力			
副顧問	来住野 有沙			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 「学び、鍛え、輝け」を教育目標とする本校において、自らの作品作りを探究し、互いに批評し合い、文化祭やコンクール等で発表を行う行動力をもって日々努力を重ねる。
- (2) 文化祭の展示やイベント企画や、コンクールへの応募等を目標に日々写真の技術を磨いていく。
- (3) 学校広報に提供する為、体育祭・文化祭等の学校行事を撮影し、同時に撮影技術を磨いていく。

### 3 指導方針

- (1) 生徒相互の人間関係  
個人としての作品作りだけでなく、学校行事の撮影等集団として行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (2) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう指導する。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
写真部では互いの作品に対する批評を行う中で、相手の意図を推し量り適切に言葉を選び、能力を伸ばし合うよう指導する。また、集団として行動する中で協働をするための人間関係の構築の仕方を学んでいく。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
基本的には個人で活動することが多く、部員同士で日ごろ直接会うことが比較的少ない部活動であることを認識し、意思疎通に対しては軽率な行動を取らないよう慎重になるように指導をすることで、有形無形の暴力を未然に防止する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 部会（体育祭撮影について各種目の撮影担当決め）
	5	体育祭
	6	文化祭に向けて作品作り
	7	文化祭の部活動企画準備
	8	
2 学期	9	部会（文化祭撮影について撮影担当決め） 文化祭
	10	各自コンクール等に向けて作品作り
	11	
	12	
3 学期	1	
	2	音楽祭
	3	球技大会、学年レク

(様式)

## 令和 6 年度ハンドメイキング部の指導方針等について

令和 6 年 1 0 月 1 0 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	瀧澤 葵			
副顧問	小池 和樹			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
自主的に行動力をもって日々努力を重ねる。
- (2) 学校行事における具体的到達目標  
文化祭での菓子販売において安全に留意して実施、販売個数 4 0 0 個完売する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、年間 3 回、スポーツ大会の補助役員として生徒が活動する。

### 3 指導方針

- (1) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
幹部生徒を中心に自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (2) 生徒相互の人間関係  
調理・製作を通して集団行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (3) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、基本的な活動は週 1 回とし家庭での学習時間を確保するよう指導する。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、部活動中の会話など日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
外部指導員や外部講師を依頼する際は、それぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 幹部発足（部長・副部長・会計）
	5	新入生入部
	6	週1回活動する
	7	文化祭 焼き菓子製作準備①
	8	文化祭 焼き菓子製作準備②
2 学期	9	文化祭 焼き菓子製作
	10	菓子製作・ハロウィン
	11	菓子製作・
	12	菓子製作・クリスマス
3 学期	1	菓子製作
	2	菓子製作・バレンタイン
	3	引継ぎ・次年度に向けて

(様式)

## 令和 6 年度 文芸部の指導方針等について

令和 6 年 1 0 月 1 0 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	徳永 裕亜			
副顧問	丹藤 夢子			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会への作品の提出(年 2 回)  
文化祭に向けた部誌の配布。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、文化祭で来校した人に部誌を配布する。

### 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
普段の活動は原則、校内では行わず、各自で執筆活動に努める。必要に応じて、集まり、活動を行う。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。また、著作権を遵守するよう細心の注意をする。
- (3) 生徒相互の人間関係  
部として行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (4) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
文化部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
特になし。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会への作品の提出準備
	5	東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会への作品の提出準備
	6	東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会への作品の提出 文芸部のつどいへの参加
	7	文化祭に向けた部誌作成
	8	文化祭に向けた部誌作成
2 学期	9	文化祭に向けた部誌作成
	10	東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会への作品の提出準備
	11	東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会への作品の提出 文芸部のつどいへの参加
	12	各自執筆活動
3 学期	1	各自執筆活動
	2	各自執筆活動
	3	各自執筆活動

(様式)

## 令和 6 年度 文芸漫画部の指導方針等について

令和6年10月10日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	黒田 英嗣			
副顧問	岡本 亜紀			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
年間通して部誌を3冊以上発行する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、文化祭で来校した人に部誌を配布する。

### 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
活動は、原則週に2日間とし、練習時間は、平日2時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。また、著作権にひっかからないよう細心の注意をする。
- (3) 生徒相互の人間関係  
部として行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (4) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
文化部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
特になし。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	新入生歓迎号印刷
	5	入部
	6	夏号テーマ決め、作成
	7	夏号印刷手続き。文化祭企画準備
	8	個人誌、合同本印刷
2 学期	9	文化祭企画の政策、準備、買い出し
	10	冬号テーマ決め、作成
	11	画材買い出し
	12	冬号印刷
3 学期	1	卒業号企画、作成
	2	卒業号作成
	3	卒業号印刷、引継ぎ、新入生歓迎号作成

(様式)

## 令和 6 年度コンピュータ部の指導方針等について

令和6年10月10日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	小林 翠			
副顧問	佐藤 勇			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 文化祭での販売・展示や行事等の動画撮影を通して、生徒が自ら考え行動し、他者と協力し合う力を育む。
- (2) 地域交流を積極的に図るため、東部地域文化祭への展示協力を行う。

### 3 指導方針

- (1) 生徒相互の人間関係  
行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (2) 学習と部活動  
積極的に学ぶ姿勢を培い、学習と部活動との両立を定着させるために家庭での学習時間を確保するよう指導する。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
生徒の自主性を尊重し、各活動において計画・実行・反省を生徒中心で行うよう指導する。その際に、体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
特になし。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	学校紹介動画の撮影・作成の計画と準備
	6	体育祭の動画撮影、得点集計
	7	文化祭（販売・展示）準備 学校見学会・説明会用学校紹介動画の作成
	8	文化祭（販売・展示）準備
2 学期	9	文化祭（販売・展示）
	10	調布市東部地区地域文化祭に向けての展示物の作成
	11	
	12	
3 学期	1	
	2	音楽祭の動画撮影
	3	生徒会部活動紹介の準備

(様式)

## 令和 6 年度アコースティックギター部の指導方針等について

令和6年10月10日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	太田 俊	荒井 裕次	専門学校講師	年 50h
副顧問	竹内 彩絵			
副顧問	井町 翔文			
副顧問	北久保 友希			
副顧問	島谷 俊行			

### 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「責任を伴う自由」を大切にする本校において、生徒一人ひとりが演奏面でも運営面でもよく考えたうえで適切に行動する力を身につける。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
年1回の「高校生ライブ MUSIC DAYS」では、毎年東京大会の決勝までの出場を果たしている。今後は全国大会出場を目指すとともに、年2回の東京都高等学校軽音楽連盟主催の大会についても予選通過を目指したい。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
近隣の高校との合同ライブを行い、交流を深める。

### 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は原則週に5日間とし、練習時間は各バンド約2時間程度を基本として個人の演奏技術向上およびバンド全体の演奏技術向上へ向けて集中的に行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
1~2か月に1度ほどの頻度で、部内ライブおよび他校との合同ライブを行い、ステージ運営についても技能向上を図る。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
時間管理や挨拶の励行により、部活動全体が健全に活動できるように促していく。
- (4) 生徒相互の人間関係  
おもに練習予定やライブなどのことに関して、こまめに連絡を取り合うことで人間関係のトラブルを減らし、部全体の雰囲気をも明るくしていく。
- (5) 学習と部活動  
授業の課題が提出できているかの確認をし、保護者とも連携して家庭学習の機会を確保していく。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
生徒の人権尊重を基本とし、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のないよう注意していく。顧問間および外部指導員、保護者と連携して、体罰・暴言等のない指導を実施していく。

- (2) 生徒間の暴力禁止  
物理的な暴力はもちろん、精神的な暴力についても未然に防止するため、生徒間の関係性を把握し、適切な指導を行っていく。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問および外部指導員のそれぞれの役割を明確にしなが、連携をとって効果的な技術指導を実施していく。
- (4) 事故防止・安全配慮  
熱中症や機材運搬の際にけがなど起きないように、生徒に自身での健康管理を促すとともに、顧問も適宜把握して部活動を実施していく。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	1 年生入部開始 MUSIC DAYS 東京大会予選
	6	合同ライブ
	7	1 年生デビューライブ MUSIC DAYS 東京大会決勝 東京都高等学校軽音楽コンテスト 予選 夏季合宿健康診断
	8	夏季合宿（山梨県都留郡山中湖村 スタジオ 3泊4日） 文化祭出場バンド選考会
2 学期	9	文化祭発表
	10	東京都高等学校軽音楽連盟 バンドフェスティバル予選 部内ライブ
	11	
	12	部内ライブ
3 学期	1	部内ライブ
	2	
	3	3 年生卒業ライブ

(様式)

## 令和 6 年度 華道部の指導方針等について

令和 6 年 1 0 月 1 0 日

### 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	小野村 樹美	宮本 理城	古流東洋会 水墨花点前 家元	月約 1 回
副顧問	陶山 理			
副顧問				

### 2 年間目標

- (1) 生花を通して日本文化を理解し、草木を使って自己表現することで自然や生命の美しさを理解する。
- (2) 基礎的ないけばなの形を理解し、習得する。

### 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量  
練習は月 2 回を基本とし、年間行事に合わせて調整する。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識の健全育成  
挨拶、正しい言葉遣い、使用後の教室の清掃など他の生徒の模範となるよう心がける。
- (3) 生徒相互の人間関係  
互いの作品を見て、一人一人の感性や表現を認め合うことで互いを尊重する姿勢を養う。日頃の準備や清掃を通して協調性や責任感を涵養する。
- (4) 学習と部活動  
学習と部活動の両立をする。

### 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、外部指導員、生徒、保護者で体罰禁止について共通理解をはかる。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活内での問題を、生徒同士の暴言、暴力などで解決することのないように、日頃の指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
1 回 2 時間、年間 4 0 時間、外部指導員の先生にご指導をお願いし、顧問と外部指導員とで連携して指導にあたる。
- (4) 事故防止・安全配慮  
はさみや剣山など取り扱いには日頃から注意するように指導する。また、これらの道具を許可無く持ち出しすることを禁止する。また、作製の際は、適宜活動場所の空調を用い、熱中症を予防する。

## 5 活動の手順

- (1) 花屋から届いた花をスクールカウンセラー室に搬入する。
- (2) 適切な距離を保って、生徒が花を活ける場所を作る。
- (3) 収納場所から花器やはさみなどの道具を運ぶ。
- (4) 外部指導員の指導を頂きながら花をいける。
- (5) 道具を片付け、スクールカウンセラー室を清掃する。
- (6) 挨拶をして活動を終わる。

## 6 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 部活動仮入部 新入生向けに道具の扱い、花の扱いを教授
	5	全国花生けバトルに向けた練習
	6	全国花生けバトルに出場 文化祭に向け夏の草花で練習
	7	文化祭に向け夏の草花で練習
	8	夏期休業中 文化祭に向け夏の草花で練習
2 学期	9	文化祭に出展
	10	学校説明会の入口に出展、部活動見学で実演
	11	学校説明会の入口に出展、部活動見学で実演
	12	来年度の文化祭に向け、冬の草花で練習
3 学期	1	新入生歓迎会に向け、冬の草花で練習
	2	新入生歓迎会に向け、春の草花で練習
	3	三年生を送る会 生徒会新入生歓迎会に向け準備